

## 平成28年常総市中学生議会 一般質問通告一覧

○議長（前半） 石下西中学校 吉澤 桃佳  
 （後半） 水海道中学校 片野芽瑠笙

質問 順位	質問者 (質問方法)	質問事項	質問要旨
1	水海道中学校 (総括質問・答弁)  片野芽瑠笙 石塚 詩織 工藤 慎也 永瀬 千咲 小故島 唯	1 ギネス挑戦について	①水害からの復興を意識し、常総市民の元気な姿、及び支援・ボランティア活動をして下さった方たちへの感謝のメッセージを伝えるイベントを行う。例えば北海道小樽市の「世界一長い海苔巻き」のように、常総市の人間と常総市の特産物活かした大規模な参加型のイベントを行う。そこで、世界一の記録となるような「ギネスブックへの記載」を意識した活動を行う。マスコミにも取材を呼びかけ、広く広報活動を行う。全国に復興の姿を伝えることができ、常総市に人が集まり活気が生まれ、特産物の販売促進など経済的効果も期待できる。「ギネスに挑戦」を行ってみてはどうだろうか。
		2 緑化公園の増設について	①市民のために安らぎと楽しみを与えられる公園を増やしてはどうだろうか。きぬ総合運動公園まで歩いていけない人たちのために、市内中心部に多目的型の緑化公園をつくり、例えば人々が気楽に散歩やジョギングができる膝に衝撃の少ない専用の道、犬などのペットを連れて行けるウッドチップの道、フェンスに囲まれたバスケットコートやゲートボール場、フリスビーなどができる空間などが併設できるよう、市内にある空き家や空き地を購入し、整備して活用してみたいか。
2	鬼怒中学校 (総括質問・答弁)  安孫子 励耶 伊澤 りか 倉持 歩 柴崎 有那 吉川沙也加	1 常総線の活性化について	常総線と並行して走る国道294号線は、4車線化が進んでいる。便利になる半面、車の利用が増えると鉄道などの公共交通機関の衰退も懸念される。 そこで今後、常総線が常総市の公共交通機関の核として活性化していくためには、より利便性を図る必要があり、そうすることで、常総市に来る人も増え、市全体の活性化につながると考える。そのためには、企業努力はもちろん、周辺自治体との協力も不可欠である中、以下の2点について問う。 ①市からの関東鉄道への負担金の使途 ②負担金を増額する考えはあるか。

		<p>2 コミュニティバスの運行について</p>	<p>私たち中学生の交通手段は自転車しかなく、遠出をするにも最寄りの駅に行くのにも大変時間がかかって不便である。また、私たち以外にも、公共交通機関がほとんどない地区が多く不便を感じている市民は多いはずである。</p> <p>市民の足を確保する手段として、コミュニティバスなどが考えられる。守谷市やつくばみらい市など、近隣の市にはコミュニティバスがあり、市民の足として活用されている。常総市でも以前は黄色い無料バスが走っていたように記憶しているが、現在は廃止されてしまっている。そこで、以下の2点について問う。</p> <p>①以前走っていた無料バスがどのような経緯で廃止されてしまったのか。</p> <p>②コミュニティバスの復活の可能性があるとするならば、路線、時間、運賃などの運行形態がどのようになりえるのか、その方向性について問う。</p>
<p>3</p>	<p>水海道西中学校 (総括質問・答弁)</p> <p>宮本 晃弥 下道 琉世 中村 晃大 鈴木 瑛大 久保 斗偉</p>	<p>1 災害時の支援物資・避難所名簿を管理するシステムの構築について</p> <p>2 常総市のオリジナル競技について</p>	<p>①昨年の水害の際、避難所の状況や、支援物資の可不足などの情報が足りず、個人のSNSに頼るような部分も多かった。その結果、物資が各避難所に均等に行き渡らず、特定の物資が一か所に集まりすぎるなどの状況が発生した。また、各避難所に避難している方々の把握は手書きの名簿を使用しており、身内を見つけるために各避難所を回った被災者もいたと聞いている。また、このような問題は全国の災害で同様に起きているようである。</p> <p>常総市が被災の経験を生かし、災害時に各避難所で効率よく管理できるシステムを構築する考えはあるか尋ねる。</p> <p>②下妻市で行われている、いかだレースのような企画を考え、市の活性化を図ってはどうか。昨年水害により、鬼怒川の堤防が決壊し多大な被害を受けた。それを逆にとり、河川で行うラフティングやカヌー・カヤック、綱引き等のイベントを企画し、常総市の復興や活性化及び鬼怒川のイメージアップを図り、川と共存していく意味でも大会やフェスティバルを行う考えはあるか。</p>

4	<p>石下中学校 (総括質問・答弁)</p> <p>おかだ しゅうへい 岡田 祥平 あきた なお 秋田 七生 やまなか わお 山中 新生 いわおか けいすけ 岩岡 京佑 こばやし ゆな 小林 由奈</p>	<p>1 元気な常総市 づくりと全国へ の発信について</p> <p>2 高齢者の住み よい街づくりに ついて</p>	<p>昨年は水害で大変な思いをしたが、全国からたくさん の御支援をいただき、人の温かさを感じた。まだまだ 復興途中ではあるが、感謝の気持ちと復興に向け頑 張っている常総市の姿を全国に発信することで地域の 活性化と復興の加速につながるのではないかと考える 。そこで、以下について問う。</p> <p>①一つめは、花いっぱい運動である。本校は被災地体 験活動で訪れている宮城県大川小学校よりひまわり の種をいただき、その種をまいて育てている。学校 中にひまわりを咲かせて、明るく元気な石下中を發 信しようと計画している。咲いたひまわりの種を、 常総市内、そして全国へと広げることで、御支援を いただいたことへの感謝と頑張っている姿の発信に つながるのではないかと考える。東日本大震災で大 変な思いをした大川小からの輪を、今回の水害で被 災した常総市だけでなく、ぜひ全国に広げたいと考 えるが、市の見解を問う。</p> <p>②二つめは、常総市の特産品を活用しての弁当販売で ある。米、千石キュウリ、味噌、乾麺、日本酒など の特産品が常総市にはある。これらを活用して常総 市ならではの特製弁当を製造・販売することで、地 域のアピールにもなるのではないかと考える。だん ご、煎餅、ハーブ、いしげ結城紬なども活用し常総 市の豊かさを発信したいと考えるが、市の見解を問 う。</p> <p>現在の常総市の人口は64,215人(H28.6 .1)である。常総市では人口の約26%(16,6 00人)が65歳以上である。日本全国はもちろん、 常総市でも急速に高齢者の人口が増えている。</p> <p>今まで常総市を支えてきてくださった高齢者の方が 住みよい街にするために、市では様々な取り組みを行 っているが、今後どのような施策を考えているのか、 以下の点について問う。</p> <p>①元気な高齢者を増やすために運動教室の実施や高齢 者の方々が集まって交流できるサロンをより充実さ せる考えはあるか。</p> <p>②交通手段・移動手段がなく困っている高齢者もいる と思いで、無料巡回バスの運行や買い物代行などの サービスを行う考えはあるか。</p>
---	--	---	--

5	石下西中学校 (総括質問・ 答弁)  <small>ふるさわ ももか</small> 古澤 桃佳 <small>なかやま あやね</small> 中山 采音 <small>まつむら ひより</small> 松村 陽和 <small>おみがわたくや</small> 小見川拓也 <small>くさま しど</small> 草間 志土	1 通学路の安全 について	①石下西中学校では、ほとんどの生徒が自転車で通学している。その際に歩道に凹凸があったり、またはアスファルトが欠損していたりする場所がかなりある。止むを得ず車道に出て通行しなければならない状況も生じ、非常に危険だという意見が多数あった。これらが原因で大きな事故に発展しかねない状況も起きており、早期の整備を強く望んでいる。 ②また、街灯が無く犯罪に巻き込まれる恐れのある箇所も依然として多く残されており、安心して登下校できるようにするために街灯の設置についてもぜひお願いしたい。市の今後の対応や整備の見通しについて尋ねる。
		2 大型商業施設の誘致について	①昨年の水害の影響で市内の様々な企業がおおきな打撃をうけ、生活に大きな影響を与えていると感じている。また、国道294号沿線に圏央道のインターチェンジが設置されることもあり、常総市に人が集まる施設を整備しなければ人口流出の加速も懸念される。そこで大型商業施設を誘致し、周辺に住宅地等の整備を行うことで地域だけでなく市全体の活性化につながると考えられる。市の考えを尋ねる。